

公立大学法人宮城大学評価委員会 質疑事項

通し番号	資料番号	実績報告書の 対象項目	質 問 事 項	回 答
1	3-2 (中期目標 期間評価) 25頁	40 (教育及び教員の 質の向上)	平成31年度に導入した新授業評価システム(nigala)が高いアンケート回収率を示している理由は何か？ (中沢委員)	新授業評価システム(nigala)は、No.48に示した学修状況可視化システムと連動しており、学生が早期に成績確認を行うためには授業評価アンケート(全履修科目を並列で回答可能)への回答が必要な仕組みを取り入れました。この仕組みの導入以降、授業評価アンケートの回収率が高く推移する結果となっています。
2	3-2 (中期目標 期間評価) 31頁	48 (学修支援)	平成29年度から紙媒体のポートフォリオを導入して、学生が自らの学修状況を把握できるシステムを構築しているが、学生はそれを何時どのように活用するのか？ (中沢委員)	入学時に紙媒体のポートフォリオ(MAP)を配付し、初年次の導入教育の中で、学修記録を残すよう指導しています。それに加えて、令和元年度からは授業評価システムと連動した学修状況可視化システム(alagin)を本格導入し、成績確認はこのシステムを通して行う仕組みを採用しました。このシステムにより、学生は成績確認及び履修登録の段階で、成績確認の他、学修状況として修得単位数・GPAの推移、履修した授業科目における自分の成績位置を確認することができ、これらを確認しながら履修計画に活用しています。
3	3-2 (中期目標 期間評価) 32頁	50 (生活支援)	平成29年度にキャンパス内完全禁煙を実施しているが、実施当初に問題は生じなかったのでしょうか？ (中沢委員)	全面禁煙までの移行措置として、平成29年度に両キャンパスへ喫煙ハウスを設置しました。3年間の移行期間を経て、令和元年度を以ってハウスを撤去し、全面禁煙に移行した後、大学周辺の住宅地における歩きたばこや、県道へのポイ捨てについて近隣住民からの苦情が数回寄せられましたが、学生に対する注意喚起を行い、改善されました。新型コロナウイルス感染症の拡大による立ち入り制限が行われていた時期にハウスが撤去されたこともあり、特に大きな問題は生じておりません。